

末期乳がんの悪臭除去

Q：末期乳がんの患者さんの患部から悪臭がします。どうしてですか？

A：がん病巣からの悪臭は乳がんばかりではなく、その他の末期がんの場合でも発生します。がん病巣には嫌気性菌感染が多く、悪臭産生に関係していると考えられています。

Q：悪臭を消す薬品や除去方法があれば教えてください。

A：残念ながら確実な消臭剤や除去方法はありませんが、抗トリコモナス薬であるメトロニダゾールを含有する軟膏や液剤が有効とされています。これらは市販されていないので、主に院内製剤として使用されています。また、健康保険も適応されません。

がん患部の悪臭

現在日本において、乳がんは女性のがん罹患の第1位となっています。好発年齢は40歳代で、年間約3.5万人が発症し、約1万人が死亡していると報告されています。1975年から1998年までの23年間で約2倍に増加しています。今後は、女性のライフスタイルの変化（未婚、未産や高齢初産、早い初経や遅い閉経、閉経後の肥満など）により、乳がんは増加することが予想されます。

末期がん患者さんからの悪臭は、乳がんの患者さんばかりではなく、その他のがん患者さんでも発生します。これは、がん病巣に嫌気性菌感染が多く、そのことが悪臭産生に関係していると考えられています。この悪臭の除去には、抗トリコモナス薬であるメトロニダゾールが有効とされています。

悪臭除去の処方例

1968年に既に大川知之氏は、メトロニダゾールが婦人科系がんの悪臭に対して有効であることを雑誌「産婦人科治療」に掲載しました。また、最近では聖路加国際病院薬剤部の渡部一宏氏が学会で、がん性悪臭に対するメトロニダゾール軟膏の使用に関し、多くの施設を対象にした、調製法や使用状況の調査結果を発表しました。今回は、メトロニダゾールの院内製剤を中心に悪臭除去の処方例を掲載します。

メトロニダゾール処方例⁽¹⁾

〈静岡県立総合病院〉

I【0.8% メトロニダゾール軟膏】	
メトロニダゾール	0.8g
マクロゴール400(局方)	20.0g
マクロゴール軟膏(局方)	79.2g
全量	100.0g

II【1.0% メトロニダゾール軟膏】	
メトロニダゾール(試薬)	1.0g
マクロゴール400(局方)	49.5g
マクロゴール軟膏(局方)	49.5g
全量	100.0g

Ⅲ【0.8% メトロニダゾール生食】	
メトロニダゾール(試薬)	0.8g
生理食塩液	適量
全 量	100.0ml

Ⅳ【0.8% メトロニダゾール液】	
メトロニダゾール(試薬)	0.8g
4%キシロカイン液	5ml
2%キシロカインビスカス	10ml
生理食塩液	適量
全 量	100.0ml

適応：乳がんの悪臭除去（胸部から背部にかけて滲出液を伴う潰瘍がある）

- ① あらかじめ温めておいた強酸性水で患部を洗浄する。
- ② ガーゼとの接触痛を防ぐ目的で、メトロニダゾール軟膏にリドカインゼリーを重ねて塗布したガーゼを創部全体にあて、テープで固定する。
- ③ 背部も同様に処理するが、皮膚転移による痒みが強い部分にステロイド含有スプレーをあらかじめ噴霧する。
- ④ 滲出液のもれ防止とガーゼを固定するために、ディスポシートで創全体を覆うように固定し、ディスポガウンを着用する。

適応：右下顎歯肉がんの悪臭除去

- ① 口元にタオルをあて、右口角より滅菌精製水を流しながら吸引し、創全体を洗浄する。
- ② 左口角よりアズレン水溶液を流し、吸引しながら口腔ケアも同時に行う。
- ③ 右下顎の創全体をメトロニダゾール液で洗浄する。
- ④ 潰瘍部分および出血部位にフラジオマイシン含有ガーゼをあて、その上にゲンタマイシン軟膏を塗布したガーゼをあてて、マスクでガーゼを固定する。

備考：① Iが基本処方である。滲出液が多く効果が不十分な乳癌の症例では、吸湿性を高めたIIを使用する。

- ② 均一な塗布が困難である瘻孔内などには外用液剤を使用する。
- ③ 強酸性水を併用した方が処置後の室内の悪臭が軽減した印象がある。患者からの「しみて痛い」との訴えに対しては、強酸性水を温め、処置30分前に鎮痛剤を投与する。

〈要町病院〉⁽⁴⁾

メトロニダゾール	0.8g
マクロゴール400	20.0g
マクロゴール軟膏	69.2g
リドカインゼリー	10.0g
全 量	100.0g

適応：外陰部がん、外鼻がん、下咽頭部がん、乳がん、甲状腺がんの悪臭除去

- ① 強酸性水などで十分に洗浄する。
- ② 1日1～2回創面に塗布する。リドカインゼリーは、処置後などの接触痛を考慮し混合した。

〈東海大学病院〉⁽⁶⁾

【0.8% メトロニダゾールゲル】

メトロニダゾール	0.8g
プロピレングリコール	10ml
1%カーボポール934P液	88ml
10%水酸化ナトリウム液	2ml

全量 100.0g

適応：Fungating Tumoursからの悪臭除去

〈静岡県総合病院〉⁽⁶⁾

【メトロニダゾール液】

メトロニダゾール	0.8g
----------	------

(試薬、生化学用)

生理的食塩水

全量 100.0ml

適応：進行性・再発癌の臭気管理

(使用方法)

・1日2回患部に注入

塩酸クリンダマイシン処方例⁽⁶⁾

〈県立がんセンター新潟〉

【クリンダマイシン軟膏】

塩酸クリンダマイシン	(力価)3g
(150mg, 20カプセル)	

マクロゴール400(局方) 10g

ソルベート(マクロゴール軟膏)(局方) 80g

全量 100g

適応：頭・頸部癌の局所再発部潰瘍形成時の悪臭軽減

銅クロロフィリンナトリウム処方例⁽⁶⁾

〈千鳥橋病院〉

【グリーン軟膏(0.5%)】

銅クロロフィリンナトリウム(試薬) 0.5g

マクロゴール軟膏(局方) 99.5g

全量 100g

適応：患者の分泌物などによる悪臭の消臭

最近の動向

渡部一宏氏は、医療薬学フォーラム2006で「がん性悪臭に対する院内外用製剤調製の実態調査」のタイトルで発表を行いました。日本乳がん学会認定施設病院432施設（クリニック、診療所を除く）を対象にアンケート調査を行いました。その結果、主成分や濃度など各施設で異なり、試行錯誤がされていると考えられ、今後、効果的で安価なメトロニダゾール軟膏の調製を行うために、軟膏製剤の基礎データおよび臨床データを蓄積していく必要がある、としています。

【参考資料】

- (1) 鈴木崇代：院内特殊製剤による患者QOLの向上,月刊薬事,47(2),57,2005
- (2) 熊谷仁ほか：進行性乳癌の悪臭に対するメトロニダゾール軟膏の効果,医薬ジャーナル,35(12),184,1999
- (3) 石黒徹ほか：末期癌患者に対する緩和ケア,医薬ジャーナル,37(7),204,2001
- (4) 吉澤明孝：悪臭のマネジメント, EXPERT NURSE,12月増刊号,2000
- (5) 日本病院薬剤師会編：病院薬局製剤 第5版,薬事日報社
- (6) 渡部一宏ほか：がん性悪臭に対する院内外用製剤の実態調査,医療薬学フォーラム 2006